

報道関係 各位

平成 30 年 4 月 23 日
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構

「公認スポーツファーマシスト認定制度」事業強化のため
大塚製薬株式会社との連携継続

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（会長：鈴木秀典、以下 JADA）は、ラグビーワールドカップ 2019 年日本大会、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとするスポーツイベントを控えていること、また昨今の国内におけるドーピング問題を受け、アンチ・ドーピング活動に関する情報提供のさらなる充実が必要との考えから、引き続き「公認スポーツファーマシスト認定制度※」事業を強化し、国内におけるアンチ・ドーピング・ムーブメントの継続的な促進を図ります。この度、2016 年より、「公認スポーツファーマシスト認定制度」事業の主旨に賛同を頂いている大塚製薬株式会社と、本制度の更なる普及・充実へ向けて引き続き、連携を継続することとなりましたので、お知らせいたします。

これまで同社には、最新のアンチ・ドーピングに係る情報・知識を認定者へ届けるため、同社が持つ医療関連事業で培われた経験を生かしたスポーツと健康に関するノウハウやインフラを活用し、毎年改定される国際基準冊子の製作やスポーツファーマシストのための研修会(Live On Seminar)の実施など、様々なご協力をいただいてまいりました。引き続きアンチ・ドーピング活動におけるアスリートのサポートスタッフの一員としてのスポーツファーマシストの役割を支援すべく、本制度の更なる充実へ向けて連携して取り組んでまいります。

JADA では、スポーツファーマシストをはじめとした各関係者・団体、そして企業と共に協働することで「クリーンなアスリートが、自身の可能性を発揮できるフィールドを常に担保し、スポーツの価値を護る」ことができる社会の実現を目指します。

(※) 公認スポーツファーマシストとは、アンチ・ドーピングのルールに係る最新で正確な情報・知識を取得した薬剤師。

トップアスリートをはじめスポーツ愛好家に対し、薬の正しい使い方の指導、薬に関する健康教育などの普及・啓発を行い、スポーツにおけるアンチ・ドーピング活動の推進を主な活動としています。

JADA では、アンチ・ドーピング活動の一環として薬剤師を対象とした「公認スポーツファーマシスト認定制度」を 2009 年 4 月より開始しており、2018 年 4 月には認定者数が 8,711 名となりました。

詳細は、(<http://www.playtruejapan.org/sportspharmacist/>) をご覧ください



【本リリースに関する問い合わせ先】
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
経営企画室 広報担当
TEL : 03-5963-8030 email : media@playtruejapan.org